

◆戸別収集・有料化全市実施説明会 Q&A

平成 25 年 7 月 26 日 (金) 午後 2 時から午後 3 時 30 分

場所 台在宅支援センター 訓練室

参加者 6 名

- 1 ごみの現状について
- 2 戸別収集・有料化説明 DVD 上映
- 3 モデル事業等についての説明
- 4 質疑応答

Q あと 1 年半以内に、1 万トン減らさなければならないのですか。

A 今、実際に 3 万 8,000 トンですので、あと残り 8,000 トンです。

Q 今は、名越クリーンセンターで 3 万トン、今泉クリーンセンターで 8,000 トンを焼却して、今泉の年間 8,000 トンの可燃ごみを減らすのに、鎌倉市 7 万世帯なので、1 世帯当たり年間、114 キロ減らさなければならないので、大変なことだと思います。

A 8,000 トンの中には、市民の方々だけではなくて事業系ごみもありますので、家庭系ごみは戸別収集・有料化で 3,500 トンと発生抑制その他の取り組みの 1,500 トンで約 5,000 トン削減を計画しています。

Q 家庭系ごみの 5,000 トンを 1 か月当たり 1 世帯 3 キロ位減らさなければならないと思うのですが、もっとごみを減らさなくてはいけない事実を知らせなければならないと思いますし、皆さん危機感を持っていません。自治会、町内会に知らせるだけではなくて、今現在減らすことをやらなくてはならないと思います。

A 自治町内会の総連合会にお願いをして、市の危機的なごみの状況を説明して、自治町内会のいろいろな場で説明会に呼んでいただきたいとお願いをし、去年は約 50 回ご説明に伺いました。今回、戸別収集・有料化について審議会から答申を受けて、市の方で計画として位置付け、今年の 6 月に広報等でお知らせをしました。

Q ごみを処理するのに年間 9 億 4,800 万円も掛かっていて、有料化するとさらに増えて 14 億 7,000 万円も掛かると言うことをもっと市民に知らせるべきだと思います。真剣に生ごみを減らすには、各家庭に生ごみ処理機を購入の義務化をした方が良いと思います。

A なかなか義務化と言うのは、難しいとは思いますが。皆様方に意識を持って、生ごみ処理機の購入をしていただいて、ご協力頂ければ、ありがたいと思います。

Q 焼却場の見学会を 1 人 1 人に義務化をした方が良いと思います。例えば、回覧板で、各世帯に鎌倉市に住んでいる市民の小学生以上はすべての人が見学に行かなくてはならないと言うことと、生ごみ処理機を持たなくてはならないと言う義務化をする。ごみを減らすには、これ位のことをしてください。

A 義務化になってしまうと、市が条例などで、縛らなくてはいけなくなってしまうので、まずは、アピールをして、知っていただくことが大事だと思います。

Q 担当地域すべての家に回ると、今の経費プラス 5 億円掛かるのは、大変なことです。本当に戸別収集できるのでしょうか。

A 藤沢市も戸別収集を実施しています。また、モデル事業では、谷戸が多い山ノ内地区で車が進入できないような場所の収集体制について検証をしたところ、持ち出しして収集できるということが分かりました。経費は掛かるのですが、ごみを減らすには有料化でこれ

まで以上にごみに対する意識を持って頂いた上で、責任を明確にする戸別収集を併せて実施する必要があると考えています。

Q パブリックコメントは意識の高い人しか見ないし、出しません。それよりも各町内会で回覧板出して、各世帯からの意見を聞いた方がいいです。

A パブリックコメントの周知の仕方は、より皆さんにその制度を知っていただくような方法を考えなくてはいけないと思っていますので、市民誰もがわかるような形で周知していきたいと考えています。

Q クリーンステーションで収集するものは、将来、戸別収集化するのですか、するのであれば、いつごろになりますか。

A 戸別収集品目は5品目です。燃やすごみ、燃えないごみ、危険・有害ごみ、容器包装プラスチック、使用済み食用油で考えております。また、品目を増やすかどうかについては、現時点では考えていません。

Q 収集日は減らすのか、今までと同じなのですか。

A 収集の回数は変えることはありません。

Q 袋が有料化で値段が決まっていますが、袋の値段を改定することはありますか。

A 袋の金額については、今の段階では1リットル2円で考えていまして、改定は考えていません。その後有料化をしてごみの減量の状況を踏まえながら考えておりますので、現時点では改定を考えていません。

Q お花が枯れた後の土の処分に困っています、市では、土を収集してもらえないですか。植木ごみは燃やしていますか。

A 土はごみでないので収集していません。植木ごみは、今は市外で堆肥化をしまして、堆肥になったものの一部を、市役所や行政センターに堆肥として置いています。

Q 土を業者に取りに来てもらうには、どの業者も同じ価格ですか。

A 業者によって価格が違うと思います。市の方では、把握はしてないです。

Q クリーンステーションで収集する資源物は、なかなか減らすのは難しいと思うのですが、努力するのは燃やすごみの有料化の方ですか。

A そのとおりです。燃やすごみを皆様方に減らしていただき、3万トン以下にしなければならぬということです。